外注していた大浴場の窓ガラス清掃を自分たちの手で行なえる

「ウロコ被膜除去クリーナー」

ホテル エミオン 東京ベイ

東京ディズニーリゾート®（以下TDR）のパートナーホテルであるホテル エミオン 東京ベイ。今年の経営戦略テーマは、「コストパフォーマンスの徹底追求」。その一環として、人気の天然温泉付き大浴場の美化を目指して導入したのが、水あか汚れを除去する研磨剤の「ウロコ被膜除去クリーナー」だ。

〈問い合わせ先〉国際興業㈱ 商事部 ✆03・3273・4041 www.uroko5931.com

ホテル エミオン 東京ベイ ゲストサービス マネージャー 佐藤拓氏

数分の作業で明らかに効果が現れる

ホテル エミオン 東京ベイは、05年6月オープンした、客室数380室のリゾートホテル。宿泊客の90％以上がTDR利用目的のため、ゆとりのある客室には和室も多く含まれている。そして、ファミリー客をはじめ、女性客などに特に人気を得ているのが、2階の大浴場「ほほえみの湯」。ホテル名の「エミオン（笑みを）」に由来した名を持つ大浴場は、男湯が60人、女湯が90人まで利用でき、ともに露天風呂を併設している。

窓ガラスの水あか落としを自分たちの手で

その屋内浴場と露天風呂は、全面ガラス窓で仕切られているが、屋外に面したガラス面に水あかが付着し、清掃担当者の頭を悩ませていた。全面のガラス窓であるために、汚れにより見通しが悪くなってしまい、利用者のアンケートにも「大浴場のガラス窓が汚れていて不快に感じられた」というコメントも届いていた。このため毎日の窓拭きだけでなく、年に1回、専門業者による水あか汚れ除去作業を実施してきた。その費用は1回20万円近く掛かったが、2～3カ月すると元の状態に戻ってしまっていた。こうしたコスト面での課題を解決したのが、昨年末に導入を決定、今年から本格的に使用を開始した、水あか汚れを除去する研磨剤「ウロコ被膜除去クリーナー」である。その間の経緯を、ゲストサービスマネージャーの佐藤拓氏は、こう語る。

「開業して3年半になりますが、この大浴場の清掃管理には、安心・安全はもちろん、お客さまの心と体の癒やしを提供するため、あらゆる努力をしています。中でも、内風呂と露天風呂の仕切り窓ガラスの水あか除去には、これまでフィルムを張ってみたり、年1回の大清掃作業など、いろいろ試しましたが、頑固な水あか汚れを落とす決め手が見つからず、悩んでいました。そこへ、昨年末国際興業商事部から、ウロコ被膜除去クリーナーの提案を受け、テストいたしました。その結果、自社で手軽に窓ガラスの頑固な汚れの除去作業ができ、コストパフォーマンスも優れたものだと判断し、導入を決定しました。

頑固な〝ウロコ汚れ〟もすっきり

この「ウロコ被膜除去クリーナー」は、国際興業㈱が、バス・タクシーなどの現場が、フロント・サイドガラスなどに付着した水あかである〝ウロコ汚れ〟に悩まされているという声を受け、研磨剤メーカーと共同開発により製品化したもの。天然素材による研磨剤で、劇薬無配合のため、ガラスの水あか汚れをすっきり落とす効果だけでなく、人・環境にも優しいのが特徴。限りなくガラスの固さに近い大きな粒子で汚れを砕きながら磨き上げ、素材を傷付けることなくシリカスケール（水あか汚れ）、油膜などの頑固な汚れを取り除くことができるのが最大の特徴だ。

「大浴場は、男女用それぞれ、仕切りガラスが5面あり、その透明度を維持することは大変でした。しかしこれからは、ガラス面の清掃作業を内製化することで、汚れに対するスタッフの関心も強くなり、より自分たちの商品として、清掃に取り組むのではないかと期待しています。また、お客さまが大浴場をより気持ちよくご利用いただけるようになるのではないかと思っています。そして、何よりも、〝コストパフォーマンスの徹底追求〟に応える商品として、評価しています」（佐藤氏）。